

はじめに

近年、台風や低気圧による大雨や浸水が毎年のように発生し、日本各地で大きな被害をもたらしています。

また、平成23年3月に東日本大震災、平成28年4月に熊本地震といった震度7を記録する大地震が発生し、甚大な被害が発生しました。

これらの自然災害は決して他人事ではなく、いつ豊山町で発生してもおかしくありません。自然災害の発生を防ぐことは不可能ですが、日頃の備えや危険性を知ることによって被害を減らすことは可能です。町民の皆さま一人ひとりが危機感を持ち、個人・家庭・地域ごとで備えることが必要となります。

本書のみかた・使いかた

この防災ガイドブックは、今後発生する可能性がある風水害や地震などの様々な災害について、あらかじめ知っておくべき知識や、避難する際の注意点などを記事や地図でわかりやすく説明しております。

自宅や日常生活でよく行く場所などを、地図上に記して、その周辺で想定される災害の危険性や避難所の場所・経路を確認し、災害が発生した場合にどのような行動をすべきか話し合しましょう。

風水害についての情報は…P2～16をご覧ください。

地震についての情報は…P17～24をご覧ください。

防災対策・避難についての情報は…P25～30をご覧ください。

監修 名古屋大学 減災連携研究センター 特任准教授 **倉田和己**

豊山町は、愛知県の中では比較的災害の危険性が低い自治体です。しかし、備えをしないで良いわけではありません。空の玄関口たる豊山町は、県全体の基幹的広域防災拠点となります。つまり、皆さんの備えにより豊山町が災害に強くなれば、その分だけ県全体も強くなるのです。このガイドブックを活用して、豊山町を一層「小さくても頼れる町」としていただくことを願っています。